



令和元年度

「徳島県まなぼうさい活動賞」を受賞

那賀高校に防災クラブが設立されてから今年度で8年目を迎えますが、活動は年々活発になっていきます。

昨年度、非常用炊飯袋(ハイゼックス袋)を活用した「なかなか美味しい防災食レシピ集」を発行したところ、大きな反響があり、様々な方から問い合わせをいただきました。今年度



知事と一緒に記念撮影をしました

は、この「レシピ集」の内容を動画にし、より分かりやすく伝えようという活動を行っています。また、防災士の資格取得や、地域と連携した防災活動なども継続して行っています。こうした活動が評価され、今年度も、「徳島県まなぼうさい活動賞」を受賞することができました。1月22日にあわぎんホールで行われた「令和元年度徳島県まなぼうさい活動賞表彰式」では、飯泉知事から表彰状をいただくことができました。

昨年度実施したアンケート調査の中で、「防災に関する活動は、『継続』として行うことが大切だ」という意見をいただきました。今年度はこれを受け、マンネリズムに陥らないよう、新

【発行】
徳島県立那賀高等学校
〒771-5209
徳島県那賀郡那賀町小仁宇
字大坪179-1
☎0884-62-1151
http://naka-hs.tokushima-ec.ed.jp/

防災クラブ 今年度の取組

しいことにチャレンジしながら、今までの活動を活かした取組をどう継続していくか、防災クラブ員全員で試行錯誤しています。

①中学生・高校生対象の「防災クラブ交流イベント」で防災食の紹介

徳島県教育委員会が主催する防災クラブ交流イベントが、中学生を対象として7月25日に、高校を対象として7月26日に、徳島県立防災センターで実施されました。その交流イベントの中で、本校の防災クラブの代表生徒3名が、昨年度本校の防災クラブが作成した「なかなか美



防災食の作り方を説明する防災クラブ員

味しい防災食レシピ集」を活用しながら、防災食の作り方の説明と試食会を行いました。当日紹介したメニューは「コンビーフカレーピラフ」で、この料理は包丁やまな板を一切使わずに簡単に作ることができます。試食会では、美味しかったという感想が聞くことができ、紹介した防災クラブの生徒たちはとても喜んでいました。その後行われたグループワークでは、他校の防災クラブ員と交流を図りながら、楽しく活動することができました。

②那賀町社会福祉協議会主催の「防災プログラム」への参加



防災食の作り方について説明

7月30日に那賀町社会福祉協議会主催の防災プログラムに参加し、地域の高齢者サロン「すみれ会」の皆さんと一緒に、「なかなか美味しい防災食レシピ集」の中にあるメニューの調理



地域の方と一緒に調理をする防災クラブ員

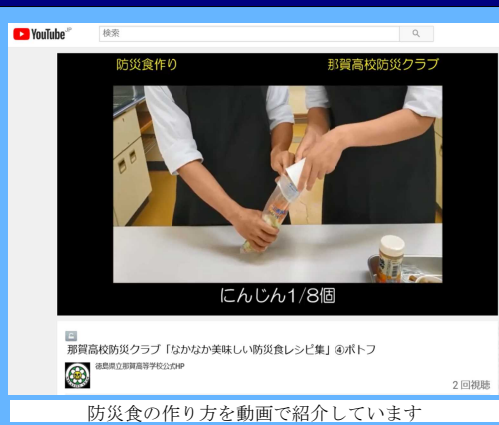
と試食をしました。この日のメニューは「梅昆布そば米ごはん・高野豆腐と肉団子の煮もの・金時豆と豆乳のケーキ」の3種類で、どれも、簡単に調理ができて美味しく作れました。午後からは、参加者全員で「い

きいき百歳体操」に挑戦しました。この「いきいき百歳体操」は、地域の高齢者の体力維持のために行われている体操です。両手に重りを付けて、椅子に座りながら体操をするのですが、見た目よりも大きな負荷がかかり、生徒たちが途中で息が上がってしまったのに対して、高齢者の方々は生き生きと体を動かしていらつしやり、その元気な様子に感心させられました。活動には地域の小学生も参加しており、幅広い年齢の方々と一緒に交流することができました。

な工夫を重ねてきました。昨年度、そのレシピを多くの人に知っていたきたくレシピ集を作成しました。今年、作り方を動画にしてyoutubeでも紹介しています。ぜひ皆さんも一度挑戦してみてください。



youtubeのQRコード



防災食の作り方を動画で紹介しています

那賀高校防災クラブでは、平成28年度から、フードコーディネーターの田中美和先生を招いて、災害用炊飯袋(ハイゼックス袋)を使用した防災食づくりに取り組んでいます。災害時においても、温かくて、美味しい、そして栄養価の高い食事を食べることができるよう、様々

③「那賀高校文化祭・体育祭」での取組



防災クラブの活動をまとめたパネル展示

9月28日から30日に那賀高校文化祭・体育祭があり、今年度も、防災クラブの活動をまとめたパネル展示や防災グッズの紹介と、アルファ米の試食を実施しました。アルファ米は、様々な種類のものを用意し、食べ比べができるようにしました。試食していただいた方からは、「意外と美味しい」「こんなに種類があるとは知らなかった」などといった感想が聞かれました。



アルファ米の試食コーナー

体育祭では、地域の中学生とともに参加する「防災リレー」を予定していましたが、昨年度に引き続き、悪天候で競技を実施することができませんでした。来年度は実施できることを願っています。



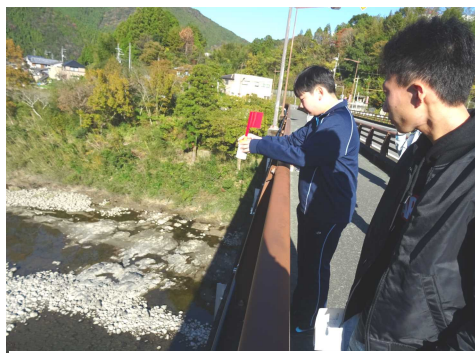
④「防災那賀よしキャン」の実施



防災食作りにチャレンジする那賀高生

11月30日に恒例の「防災那賀よしキャン」を実施しました。この取組も5年目を迎え、今年度は、生徒34名と教職員7名が参加しました。午前中は、「なかなか美味しい防災食レシピ集」を使った防災食づくりやチャレンジし、「梅昆布そば米ごはん」と「金時豆のケーキ」そして、「袋ラーメン」を鍋ではなく、ハイゼックス袋を使用して調理しました。大変美味しくでき、参加した生徒に

も好評でした。午後からは、国土交通省那賀川河川事務所に依頼し、那賀川水系の防災や水質調査を体験しました。



丹生谷橋から那賀川の水質調査を行いました

⑤「防災まつり」への参加

12月22日に海部郡牟岐町にある市宇ヶ丘学園(牟岐小・中学校)で開催された「防災まつり」に、防災クラブの生徒が参加し、那賀高校の防災に関する取組のパネル展示



来場者で賑わう防災食の試食コーナー

と防災食試食コーナーを設置し、防災食の作り方を紹介しました。防災食コーナーでは、本校以外にも、海部高校や阿南光高校の防災クラブ員が参加し、一緒にアルファ米や、パスタ、カレーの紹介をしていただきました。試食会には多くの方が興味を示してくださり、終日たくさん体験者で賑わいました。メニューの中では、特にカレーが好評でした。



アルファ米の配付

会場では防災に関する様々な体験コーナーもあり、防災クラブ員たちにとつて学ぶことが多く、貴重な経験ができました。地元婦人会が作ってくださった温かくて美味しい炊き出しにも感激していました。参加した防災クラブ員の一人は、「災害発生時には地域の防災リーダーとして積極的に活動したい」と話していました。



⑥「那賀町ボランティアのつどい」への参加

1月19日に那賀町林業ビジネスセンターで、「那賀町ボランティアのつどい」が開催されました。防災クラブ員は、地元婦人会の方とともにハイゼックス袋を使った防災食作りや、来場者に振る舞いました。この他にも、「避難行動と避難所運営について」をテーマにした、NPO高知市民会議理事である山崎水紀夫氏の講演があり、近年の災害の特徴や、備えておくべきこと、避難の判断など実際に役立つ知識等を教えていただきました。続いて行われた防災ワークショップでは、身近なものを使った防災グッズづくりを体験しました。地域の方との交流や講演等を通して、生徒たちは「地域とのつながり」が防災活動を行う上でとても大切だ」ということを実感することができました。



ハイゼックス袋を使った防災食作り

竜峰 地域の方々とともに



地元のボランティアの方々と交流

私たちの学校のある那賀町は、近年、急速な勢いで過疎化と高齢化が進んでいます。大規模な災害が発生した時には、特に高齢者の方の安全かつ迅速な避難が課題となっています。私たち防災クラブは、平成26年度に起きた那賀川氾濫による洪水で被災した経験を生かし、災害発生の原因や解決方法を探究しながら、災害に強い町づくりを目指し、学校が地域の拠点となり、防災基地となれるよう、様々な視点から活動に取り組んでいます。防災クラブの活動では、地域の住民の方々とのコミュニケーションを活発化させるとともに、「顔の見える関係づくり」を推進してきました。これからも、地域の方々とともに、防災活動に取り組んでいきたいと考えています。